

プログラム

<世話人会> 12:00～12:50 (3F会議室)

<標本展示> 13:00～14:45 (第3実習室)

<口 演> 15:00～17:05 (第3実習室)

14:55～15:00

開会の辞：京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学 伏木 信次

セッション1：座長 伏木 信次先生（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学）

15:00～15:40

1. 短刀による頭蓋内刺傷の1例

○堀 映

Medizinische Hochschule Hannover, Zentrum Pathologie, Forensik und Genetik
福祉村病院、長寿医学研究所

2. Klippel-Feil 症候群の1剖検例

○新宅雅幸¹⁾、河野弘昭³⁾、肥田晋矢²⁾

1) 大阪赤十字病院 病理部、 2) 同小児科、 3) 大手前整肢学園 整形外科

セッション2：座長 伊東 恭子先生（京都府立医科大学大学院医学研究科 分子病態病理学）

15:40～16:20

3. 進行性の認知機能障害と運動異常を呈し、thalamic degeneration と考えられる一例

○井上貴美子¹⁾、藤村晴俊¹⁾、佐古田三郎¹⁾、皆川栄子^{2),3)}、澤田秀幸²⁾、小林勝哉³⁾

1) 国立病院機構刀根山病院 神経内科、 2) 国立病院機構宇多野病院 神経内科、

3) 京大医学部附属病院 神経内科

4. 広範囲にポリグルタミンの蓄積を認めた歯状核赤核淡蒼球ルイ体萎縮症の1剖検例

○松尾 宏俊¹⁾ ○伊東 恭子⁴⁾ 藤井 ちひろ^{1),3)} 山田 丈弘^{1),3)}

宮田 清典¹⁾ 山本 喜啓²⁾ 細川 洋平²⁾ 中川 正法³⁾ 伏木 信次⁴⁾

1) 近江八幡市立総合医療センター 神経内科 2) 同病理診断科

3) 京都府立医科大学 大学院 神経内科 4) 同分子病態病理学

セッション3：座長 新宅 雅幸先生（大阪赤十字病院 病理部）

16:20～17:00

5. 意識障害と痙攣が遷延して死亡した一例

○山崎早苗^{1),4)}、伊東恭子²⁾、笠松美宏³⁾、川端健二⁴⁾

1) 京都府立医科大学 人体病理学、2) 同分子病態病理学、3) 松下記念病院 呼吸器内科、

4) 同中央臨床検査部

6. 無症状で経過観察されていたが、画像上 low grade glioma が疑われ組織学的に診断に苦慮した1症例

○児玉 良典¹⁾、森永 友紀子¹⁾、森 清¹⁾、横田 千里²⁾、埜中 正博²⁾、眞能 正幸¹⁾

1) 国立病院機構大阪医療センター 臨床検査科、2) 同脳神経外科

17:00～17:05

閉会の辞：大阪赤十字病院 病理部 新宅 雅幸先生